

## J R木次線利用促進実証事業費助成金交付要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、J R木次線の利用者増加を目的として行う利用促進プランの開発及び実証研究に対し、木次線沿線の住民組織や各種団体等（以下「住民団体等」という。）が取り組んだ際、その費用の一部を助成するために必要な事項を定める。

### (対象事業及び助成基準)

第2条 木次線利活用推進協議会（以下「協議会」という。）は、別表に掲げる事業に要する経費につき、予算の範囲内で、別表に定める助成基準により助成金を交付する。

### (申請)

第3条 助成金の交付を受けようとする住民団体等（以下「申請団体」という。）は、事業を実施する1 ヶ月前までに交付申請書（様式第1号）により、協議会へ交付申請するものとする。

2 協議会は、交付申請書を審査し、適当と認めたときは、交付決定通知（様式第2号）により、申請団体へ通知するものとする。

### (変更申請)

第4条 申請団体が、前条の規定により提出した内容等を変更しようとするときは、事前に変更交付申請書（様式第3号）により、協議会へ変更交付申請を行い、あらかじめ承認を受けるものとする。

### (実績報告)

第5条 事業が完了した場合は、申請団体は速やかに実績報告書（様式第4号）を協議会へ提出するものとする。

2 協議会は、実績報告書を審査し、適当と認めたときは、確定通知書（様式第5号）により申請団体へ通知するものとする。

### (支払)

第6条 申請団体は、助成金の交付を受けようとするときは、請求書（様式第6号）を協議会へ提出し、協議会は、速やかに交付確定額を支払うものとする。

2 交付決定後の事業実施に際し、概算払を必要とする場合は、概算払申請書（様式第7号）により、協議会へ概算払申請を行い、協議会が適当と認めたときは、概算払いを行うものとする。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長がこれを決定する。

### 附 則

この要綱は、2019年4月1日から施行する。

### 附 則

この要綱は、2020年4月1日から施行する。

別表（第2条関係）

J R木次線利用促進実証事業

No.	事業の種類	助成対象者	事業の目的・内容	助成基準
1	利用促進イベント支援事業	住民団体等 ・ 駅舎管理団体 ・ 木次線を利用・応援しているボランティア団体 ・ 住民自治組織	J R木次線の利用促進を図るためのイベントや、地域イベントと組み合わせることで利用者増加が見込まれるものに対し、必要な経費を助成する。	申請1件あたり5万円以内
2	団体利用促進事業	・ 地域活性化を目的とする団体及び特定非営利活動法人 ・ 教育及びスポーツ関係団体 ・ その他会長が認める団体	J R木次線の普通列車を利用して行う貸切企画列車や団体旅行、研修利用等に対し、J R運賃を一部助成する。	・ 10名以上の団体利用 ・ J R木次線の区間を含む乗車券の購入 ・ 普通列車の利用（トロッコ列車は対象外） ・ 申請1件あたり5万円以内 ・ 交付額は購入金額の1/2以内 ・ 1人につき片道あたり500円以内 ・ 10円未満は端数切捨 ・ 他の助成や割引制度との併用は不可

様式第 1 号（第 3 条関係）

年 月 日

木次線利活用推進協議会

会長 様

J R木次線利用促進実証事業費助成金交付申請書

<申請者>

住 所

団 体 名

代 表 者

役職・氏名

⑩

（担当者名） （ ）

連 絡 先

—

—

J R木次線利用促進実証事業費助成金交付要綱第 3 条の規定に基づき、次のとおり助成金の交付を受けたく関係書類を添えて申請します。

記

1. 事業の種類 \_\_\_\_\_

2. 事業の名称 \_\_\_\_\_

3. 助成申請額 \_\_\_\_\_ 円

4. 添付書類

① 事業計画書 様式第 1-1

② 収支予算書 様式第 1-2

5. 利用区間（普通列車） ※団体利用促進事業のみ

J R木次線内	出発駅名	到着駅名
往路		
復路		

事業計画書

①事業の種類	1. 利用促進イベント支援事業 2. 団体利用促進事業 ※いずれかを選択（○印）
②事業の名称	
③事業予定期間	年 月 日 ～ 年 月 日 ※事業は、2021年2月26日（金）までに完了すること
④事業の概要	※助成事業を活用して実施する事業のみ記載する。 ※イベントが複数ある場合にはそれぞれについて記載する。  イベント名：  開催予定日：
⑤事業の実施体制及び他機関との連携体制	※他機関との連携があれば記載する。
⑥他助成事業の有無	※他の助成事業を利用している場合は、原則助成できません。 有り ・ 無し
⑦ターゲット	※どんな団体、あるいは年齢層・性別の人を、どこからどのように呼び込むのか（周知方法等）を記載する。
⑧誘客の工夫	※乗客をどのようにして呼び込むのかを記載する。
⑨事業効果見込み ・ 数値目標 ・ 相乗効果 ・ 波及効果 ・ 副次効果	※事業実施による木次線の利用者数（見込み）を必ず記載する。 ※その他、想定する事業効果の概要や数値目標があれば記載する。  木次線利用者数                      人（見込み）
⑩次年度への継続性、継続事業の場合は、これまでとの違い（新規の要素）を記載	※今後継続していく場合、財源など具体的に記載する。 ※継続事業の場合、これまでとの違い（新規の要素）を記載する。

※必要に応じて別紙を添付してください。

様式第1-2

## 収支予算書

収入の部

単位：円

区 分	金 額	説 明
合 計		

支出の部

単位：円

区 分	金 額	説 明
交付対象経費		
交付対象経費計①		
交付対象外経費		
交付対象外経費計②		
総事業費③=①+②		

※区分は適宜追加してください。説明欄は、必要に応じて別紙を添付のこと。

様式第2号（第3条関係）

木次線利推協第号  
年 月 日

<申請者>

住 所

団 体 名

代 表 者

役職・氏名

(担当者名) ( )

連 絡 先

木次線利活用推進協議会  
会長

J R木次線利用促進実証事業費助成金交付決定通知書

年 月 日付けで助成申請のありましたJ R木次線利用促進実証事業費助成金については、次のとおり決定しましたので通知します。

事業の種類	
事業の名称	
助成申請額	円
助成決定額	円

注意事項

- 1 J R木次線利用促進実証事業費助成金交付要綱第5条の規定に基づき事業完了後速やかに実績報告書を提出すること。
- 2 実績報告書に添付する書類等
  - (1) 事業報告書（様式第4-1）
  - (2) 収支決算書（様式第4-2）
  - (3) その他実行委員長が必要と認める書類

様式第3号（第4条関係）

年 月 日

木次線利活用推進協議会  
会長 様

JR木次線利用促進実証事業費助成金変更交付申請書

<申請者>

住 所

団 体 名

代 表 者

役職・氏名

印

(担当者名) ( )

連 絡 先

—

—

年 月 日付、木次線利推協第 号で交付決定通知のありましたJR木次線利用促進実証事業費助成金について、次のとおり交付内容等を変更し、たく関係書類を添えて申請します。

記

1. 変更（中止・廃止）事項

変更事項	変更前	変更後
事業内容 ・ 助成決定額 ・ その他		

※変更事項を○で囲う。金額等の変更がある場合、適宜別表を添付のこと。

2. 変更（中止・廃止）理由

3. 添付書類（必要に応じ添付）

様式第4号（第5条関係）

年 月 日

木次線利活用推進協議会  
会長 様

JR木次線利用促進実証事業費助成金実績報告書

<申請者>

住 所

団 体 名

代 表 者

役職・氏名

印

(担当者名) ( )

連 絡 先

—

—

年 月 日付、木次線利推協第 号で交付決定通知のありましたJR木次線利用促進実証事業費助成金に係る事業を完了したので、JR木次線利用促進実証事業費助成金交付要綱第5条の規定に基づき、関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業の種類 \_\_\_\_\_

2. 事業の名称 \_\_\_\_\_

3. 助成決定額 \_\_\_\_\_ 円

4. 添付書類

① 事業報告書 様式第4-1

② 収支決算書 様式第4-2

5. 利用区間（普通列車） ※団体利用促進事業のみ

JR木次線内	出発駅名	到着駅名
往路		
復路		





様式第4-2

## 収支決算書

収入の部

単位：円

区 分	予算額	決算額	比較増減	説 明
合 計				

支出の部

単位：円

区 分	予算額	決算額	比較増減	説 明
助 成 対 象 経 費				
助成対象経費計①				
助 成 対 象 外 経 費				
助成対象外経費計②				
総事業費③=①+②				

※領収書写しを添付してください。

様式第5号（第5条関係）

木次線利推協第 号  
年 月 日

<申請者>

住 所

団 体 名

代 表 者

役職・氏名

（担当者名）（ ）

連 絡 先

— —

木次線利活用推進協議会  
会長

J R木次線利用促進実証事業費助成金確定通知書

年 月 日付けで実績報告のありましたJ R木次線利用促進実証事業費助成金については、次のとおり確定しましたので通知します。

事業の書類	
事業の名称	
助成確定額	円

様式第6号（第6条関係）

年 月 日

木次線利活用推進協議会

会長 様

J R木次線利用促進実証事業費助成金請求書

<申請者>

住 所

団 体 名

代 表 者

役職・氏名

印

(担当者名) ( )

連 絡 先

—

—

年 月 日付、木次線利推協第 号で交付決定のあったJ R木次線利用促進実証事業費助成金を交付されるよう請求します。

記

1. 交付請求額 \_\_\_\_\_ 円

〔 内訳 ・ 交付決定額(a) 円  
・ 今回交付請求額(b) 円  
・ 未交付額(c) = (a) - (b) 円 〕

2. 振込先

<助成金の振込先>

金融機関名	銀行				支店			
	銀行コード				支店コード			
ふりがな								
口座名義								
預金種類	当座・普通・別段				口座番号			

様式第7号（第6条関係）

年 月 日

木次線利活用推進協議会  
会長 様

<申請者>

住 所

団 体 名

代 表 者

役職・氏名

印

(担当者名) ( )

連 絡 先

—

—

JR木次線利用促進実証事業費助成金概算払申請書

年 月 日付、木次線利推協第 号で交付決定のあったJR木次線利用促進実証事業費助成金概算払を行っていただきますようJR木次線利用促進実証事業費助成金交付要綱第7条第2項の規定により、次のとおり申請します。

記

事業の種類	
事業の名称	
交付決定額	円
内概算払請求額	円
概算払請求の理由	
添付書類	1 交付決定通知の写し 2 助成金請求書